

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2012～2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋 津 孝 久
幹事 野 村 紀 代 彦
会報委員長 横 山 宜 幸

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2769回例会プログラム

[当年度 = 3回目; 当月 = 4週目]

2012年(平成24年) 7月23日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食 事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 東日本大震災に係る教育復興支援
ボランティア派遣事業
愛知教育大学 学長 松田 正久 様
9. 幹事報告
10. 出席報告
第4四半期皆出席の発表(出席委員会)
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(7/30) ……

クラブ協議会並びに懇親会
(親睦活動委員会)

- 17:30～刈谷商工会議所
(8/6) ……
クラブフォーラム(出席委員会)
通年皆出席および前年度皆出席者表彰
※米山記念奨学会のDVD(米山奨学委員会)

- 13:00 14. 本日のプログラム
新入会員アワー
豊田 貴久 会員
埴 栄一 会員

15. 謝 辞
16. 点 鐘 …… 〈会 長〉
17. 閉会宣言

- 13:30 18. 散 会

ビ ジ タ ー

加藤 英明 様(安城 RC)

ゲ ス ト

国立大学法人 愛知教育大学
学長 松田 正久様
" 学生支援部長 山本 良夫 様

出 席

会員総数 91名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 83名
欠席 3名 出席率 96.39%
前々回(7/2)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 7月12日に刈谷市スカウト育成連絡協議会に出席してきました。7月17日に平成24年度暴力追放刈谷市民会議総会に出席しました。
2) 7月17日に野村幹事と刈谷市長を表敬訪問してまいりました。
3) 本年度の東北復興支援事業である、気仙沼・階上小学校より、学用品寄贈の礼状が届いております。

東日本大震災に係る教育復興支援ボランティア派遣事業寄付



幹事報告

- 1) 国際ロータリー 2760地区第3回俳句大会開催のご案内がきています。日時は11月4日、投句のみの参加もOKという事です。

会長あいさつ

嶋津 孝久



「近頃の若い者は…」というのは、昔から言われ続けて来た事です。エジプトやアッシリアでも言われていたそうですが、これは確認できておりません。「近頃の若い者は、態度がなってないし、挨拶もできていない。」と、古代ギリシャの哲学者プラトンが書いております。どうも、この嘆きは人類の永遠のテーマかも知れません。ただ、自分では使わないように、封印してきた言葉ではあります。以下は、若者をダメだと決めつける話題ではなく、ある傾向として受け取って頂ければという、話題です。

先日の経営会議で、当社役員による来期の活動計画を作りました。その中に「考動」が選ばれました。これは、「最近の社員が仕事をやる際に、あまり考えていないように見える。」という意見がでました。そこで、営業活動にしろ、事務処理にしろ、考えて動こうという気持ちを込めて、「考動」という造語にしました。

また、先日出席した代理店会で、あるメーカーの社長がやはり同じような発言をしておりました。この社長によると、若い人達が考えなくなったのは携帯電話とインターネットのせいだそうです。問題がおきても、考える前に携帯で聞けるし、調べ物もネットで手軽にできる。考える必要がない時代に生きている。けれども、こういう若者に考える習慣をつけるのが、これからの経営者の課題だと言っていました。

新入会員アワー

豊田 貴久 会員



今年の2月に入会させて頂きました豊田です。入会してまだ半年しか経っていませんが、色々な経験をさせて頂き、あっという間の半年でした。本日は私の自己紹介というか自己PRと会社の事業紹介をさせて頂きます。身長は174cm、体重は現在65kgですが、以前は72kgありメタボだったので、リーマンショックを機に、朝バナナダイエットを始めて、やせるようにやりました。趣味はゴルフですが、ホールインワンをやってから、突然アップスになり、現在苦しんでおります。続いての趣味はマラソンです。これもメタボ解消のために走るようになり、揖斐川マラソンに参加するようになりました。似ている有名人はニコラスケイジと志村けんです。

生まれは刈谷市寺横町で生まれました。小さい頃は、お祖父さんがロータリーに入っていたので、よく家族会に連れて行ってもらった記憶があります。刈谷東中学、刈谷高校と進みまして、野球をやっていました。東中では、初めて西三河大会で優勝し、県大会に出場し、県3位という成績を残しました。刈谷高校では、初めて全三河大会で優勝しました。その後は近畿大学に進み、平成元年に豊田産業に入社致しました。平成4年の5月に結婚致しまして、今年で一応20周年となりました。現在は大学2年の長男、高校1年の次男、中3の長女の5人で暮らしております。

会社概要ですが、本社工場は刈谷市一色町にあり、主に豊田自動織機の繊維機械部品の製造・組立や、トヨタL&F関連部品の製造をおこなっております。外食事業部は名古屋栄と東京に支店を置き、飲食店の経営及びフランチャイズパートナーサポート、FC店の出店や運営のサポートをおこなっております。また、環境イノベーショングループはまだ立ち上がったばかりですが、「めぐりん菜」という環境貢献と企業ブランド力アップを目指した取組みを提案させて頂いております。資本金は2000万円、従業員は正社員180名、パート・アルバイト850名、年商は73億円となります。地域密着型の企業を目指して行きたいと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。

新入会員アワー

塙 栄一 会員



○私は今年4月、日本生命の社内異動により刈谷市民となりました。東京から家族3人で来ましたが、三河の魚介類・肉・野菜・果物の美味にとっても感動しております。そして4月23日に伝統と格式のある刈谷ロータリークラブに入会さ

せて頂き、本日でちょうど3か月となります。
仕事は日本生命の刈谷支社長です。本日は私の生い立ち、自己紹介を中心にお話をさせて頂ければと思います。

○私は昭和42年8月に母方の故郷・宮崎県に生まれました。母親の実家が焼酎の造り・仕込みをしております。山深い、湧水の豊かな地で、生産量はわずかですが、職人のこだわりを目の当たりに育ちました。

○実家の影響だと思いますが、「不易流行」が私の一番好きな言葉です。
守らないといけない伝統・土台には徹底的に拘る一方、実は毎年研究を行い製法のマイナーチェンジを繰り返しています。そうすることで、伝統が現在に生き続けていると思っています。

○会社に入社して22年目になります。財務畑が長く、エコノミスト、アナリスト、社長秘書など色々な仕事を経験しました。
14年前、日本経済新聞の大機小機というコラムに月1回、3年余り執筆したりもしました。株式市場や公的年金制度、金庫株解禁など、思いつくまま書いておりました。1回3万円の原稿料でした。

○6年間の社長秘書時代は、通勤・出張・会議・個別打合せの殆どに同行・同席して、経営者の責任の重さ、従業員を思う心、孤独といったものを身近で痛感しました。

○日本生命刈谷支社は、刈谷市を中心に、北は豊田市から南は南知多町まで南北に長いエリアが担当です。
セミナーやイベントなども行っており、8月末には「いっこく堂ショー」を営業職員主催で企画しております。ご興味があればお申し付け下さい。何も分からぬ若造でございますが、今年度は親睦委員として頑張りますので、ご指導の程、どうぞよろしくお願い致します。